

## 「新年を迎えて」

主幹教諭

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。冬休みが明け、校舎に生徒たちの明るい声が戻ってきました。いよいよ2026年の幕開け、そして一年間の締めくくりとなる三学期のスタートです。

さて、今年の干支は「午（うま）」です。古来、馬は人間にとって非常に身近で、力強く大地を駆ける姿から「躍進」や「前進」の象徴とされてきました。また、馬は周囲の状況を敏感に察知する賢い動物でもあります。技術科の教員として「馬」を考えると、真っ先に思い浮かぶのは「馬力」という言葉です。かつて蒸気機関が発明された際、その力を測る基準として馬の力が使われました。現代の高度なテクノロジーの根底にも、この「一頭の馬が力強く荷を引くエネルギー」が息づいています。生徒の皆さんにも、この一年、自分の目標に向かって力強く、かつ軽やかに駆け抜ける「馬力」を発揮してほしいと願っています。迷ったときは立ち止まっても構いません。しかし、馬が広い視野を持つように、皆さんも多角的な視点で物事を見つめ、次の一步を踏み出してほしいと思います。

新年の校内では、「校内作品展」と「書き初め展」が開催されました。「書き初め展」では、一筆一筆に魂を込めた力強い文字が並び、校舎全体に凛とした空気が流れています。墨の香りに包まれながら作品を眺めていると、生徒一人ひとりの「新年の決意」が紙面から伝わってくるようです。また、「校内作品展」では、各教科の作品や学習成果が所せましと並んでいます。一つ一つの作品には生徒の考えた過程が詰め込まれています。例えば技術科の木工作業では、最初は一本の材料だったものが、切断し、加工し、磨き上げ、塗装されることで、世界に一つだけの「形」へと変わっていきます。作品をよく見ると、図面通りにいかずに苦労した跡や、それをカバーするために工夫した独自のアイデアが見て取れます。技術の世界では「失敗」は単なるミスではなく、より良いものを作るための「貴重なデータ」です。試行錯誤を繰り返し、最後まで完成させた生徒たちの作品は、どれも個性に溢れ、輝いています。ものづくりを通して培った「課題を解決する力」は、これからの予測困難な時代を生き抜く大きな武器になるはずですよ。

新年を迎え、3年生にとっては、いよいよ進路選択の正念場となる時期です。12月から継続して面接練習を行っています。私も面接官役として多くの生徒と向き合っていますが、そこで目にする姿には目を見張るものがあります。ほんの2年前は無邪気な笑顔で敬語もままならない状態だった生徒たちが、しっかりとこちらの目を見て「私は、将来こんなことがしたいです」「中学校生活では、このような力を身に付けました」と、自分の言葉で語ります。その表情は、自分の記憶の中にある生徒たちの表情よりもずっと大人びて見えました。自分の内面を見つめ、それを他者に伝えるという作業は、とてもエネルギーが必要です。しかし、その苦労こそが、彼らを一回りも二回りも成長させています。3年生の皆さん、自信を持ってください。皆さんが積み上げてきた努力は、必ず皆さんの背中を押してくれます。

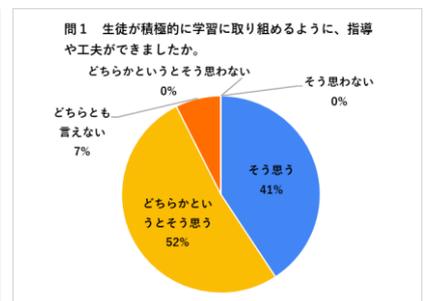
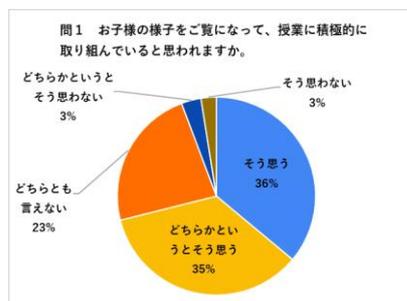
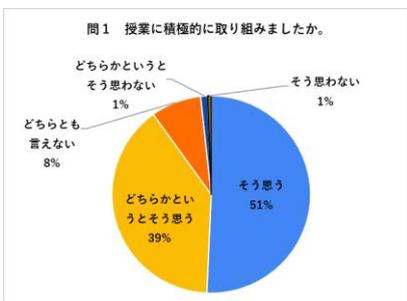
三学期は「まとめ」の学期であると同時に、次への「準備」の学期でもあります。1・2年生は、先輩たちの背中を追いながら、自分たちがこの田無二中をどう創っていくかを考える時期です。私たち教職員も、生徒一人ひとりが「自分という作品」をより良く磨き上げられるよう、伴走者として支えてまいります。本年も、生徒たちの健やかな成長を願い、教職員一丸となって教育活動に邁進する所存です。地域の皆様、保護者の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 後期学校評価アンケートの結果

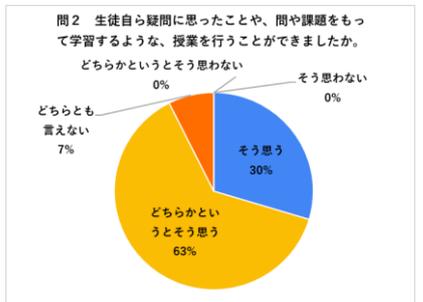
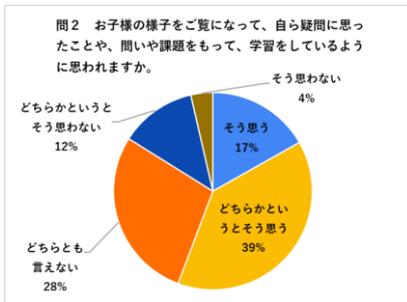
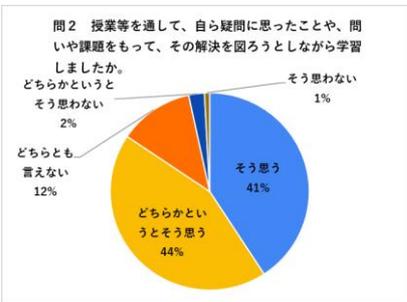
グラフは左から生徒対象、保護者対象、教員対象のアンケート結果です。

回答数 生徒：353名（1年130名、2年110名、3年113名）  
保護者：280名（1年116名、2年76名、3年88名）  
教員：27名

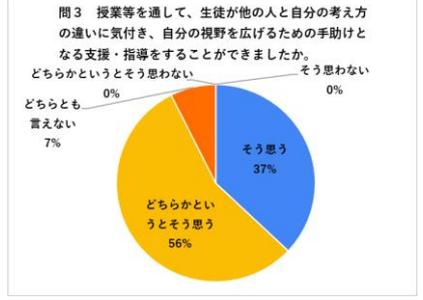
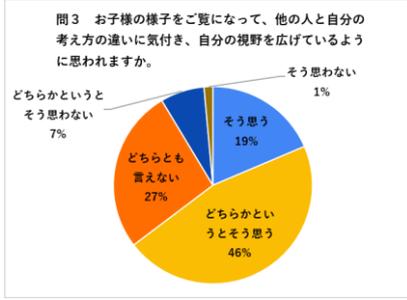
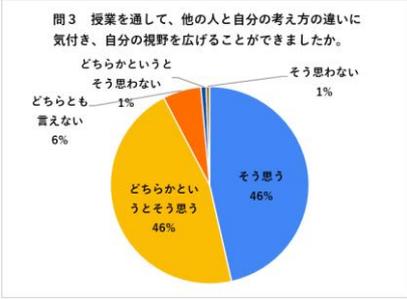
① 自ら学ぶ意欲



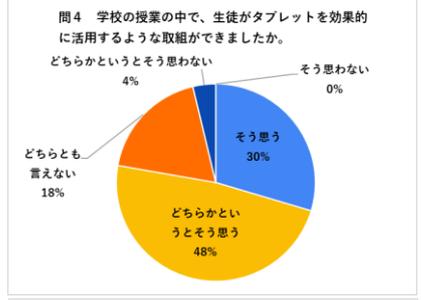
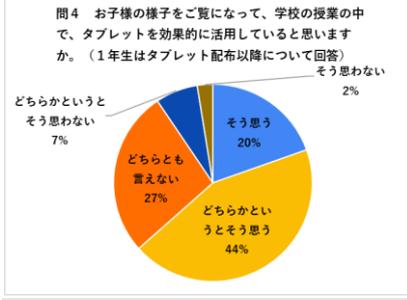
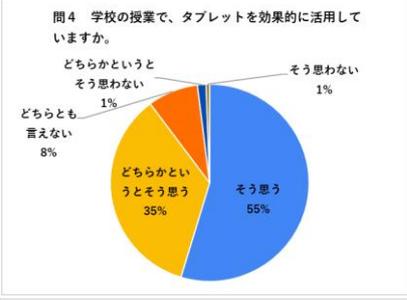
② 探究学習



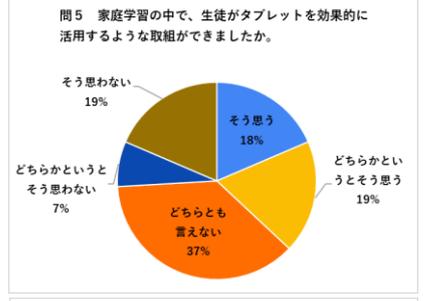
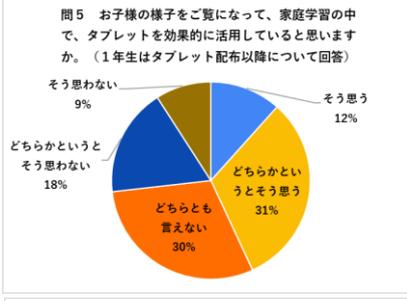
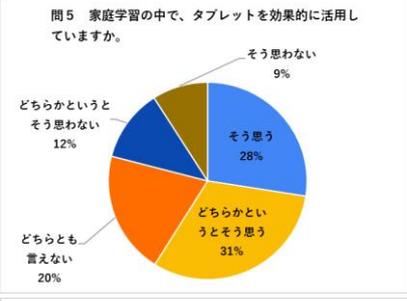
③ 協働的な学び



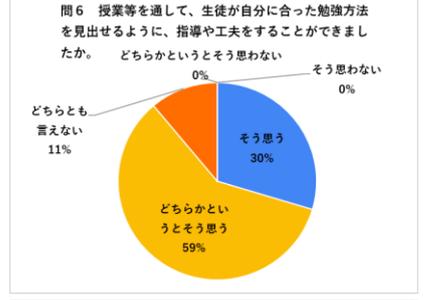
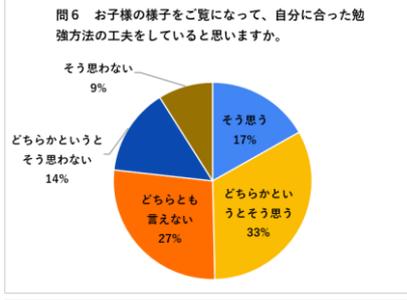
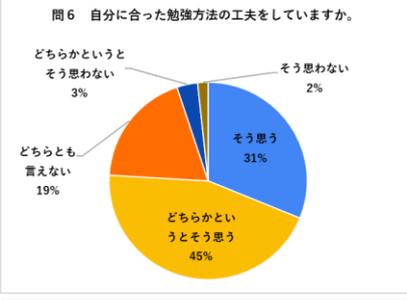
④ ICT機器の活用 (学校内)



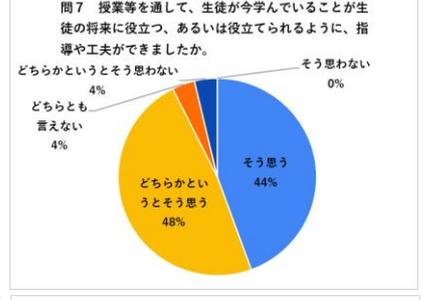
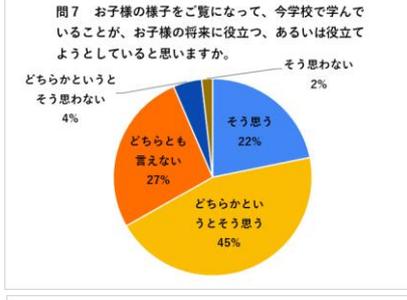
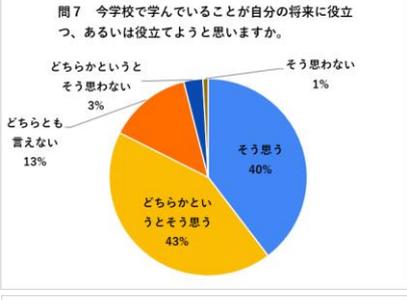
⑤ ICT機器の活用 (家庭内)



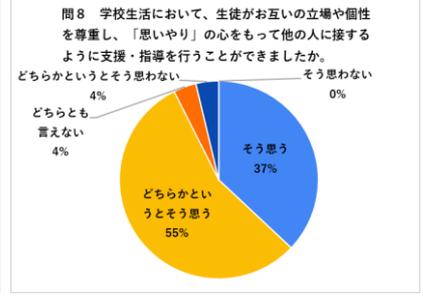
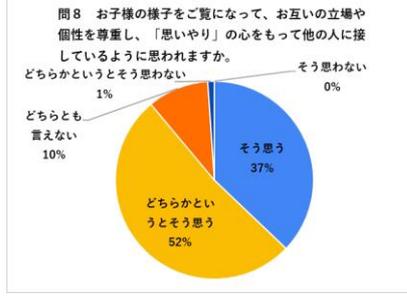
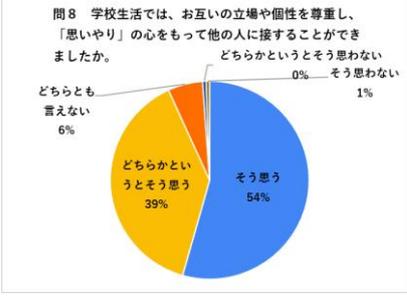
⑥ 個別最適な学び



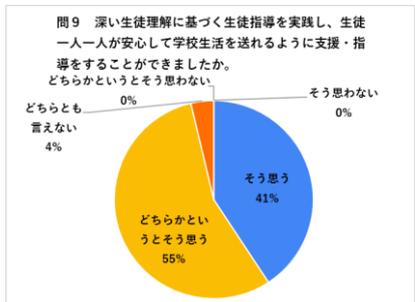
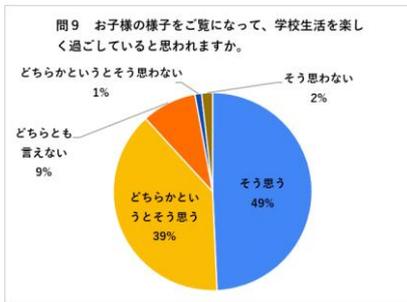
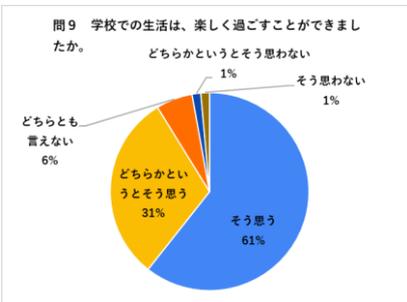
⑦ キャリア形成 ・自己表現



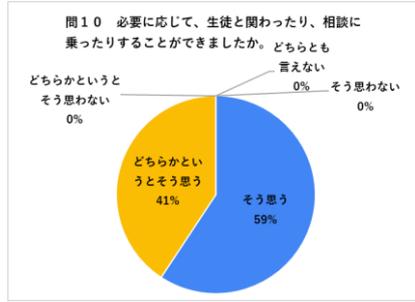
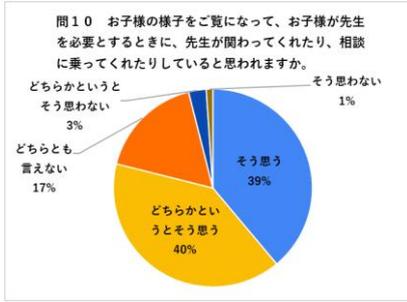
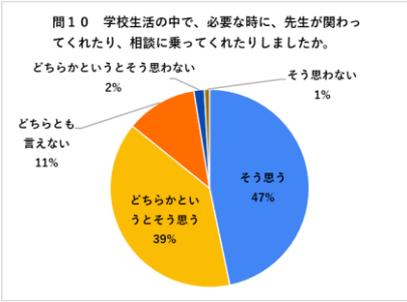
⑧ 思いやり



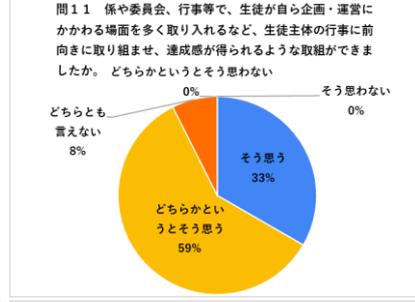
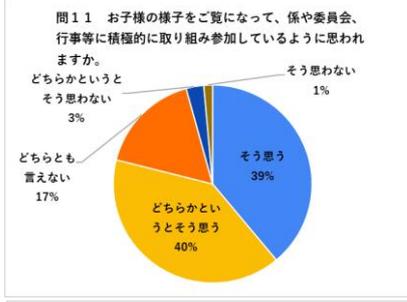
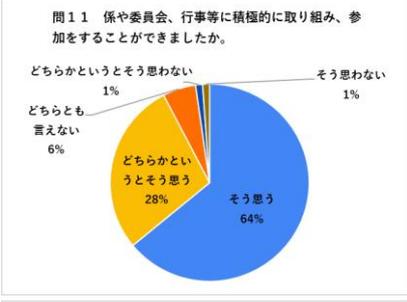
9 良好な人間関係



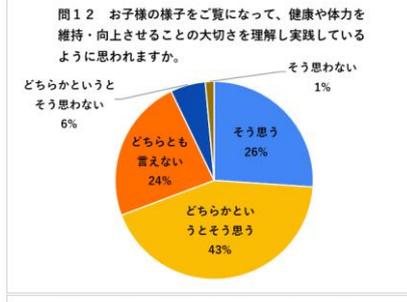
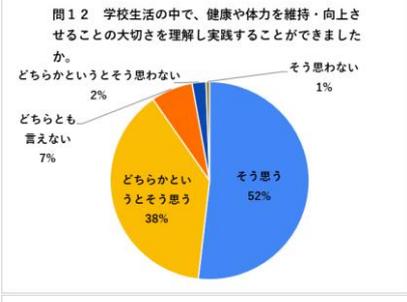
10 教育相談



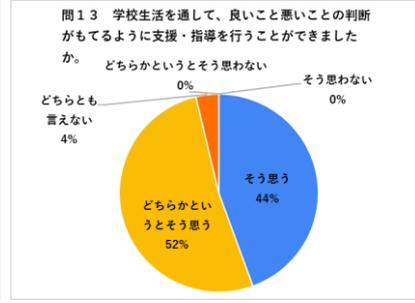
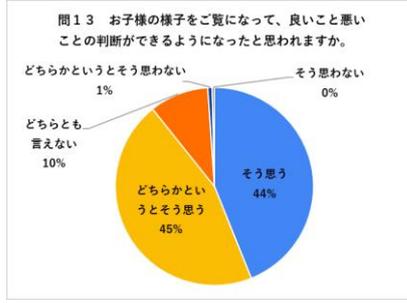
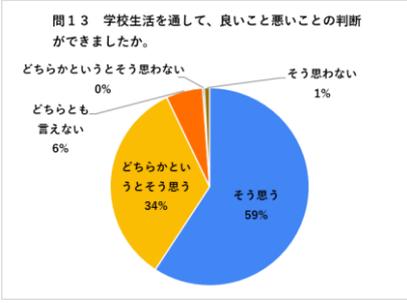
11 生徒主体の活動・やり抜く力



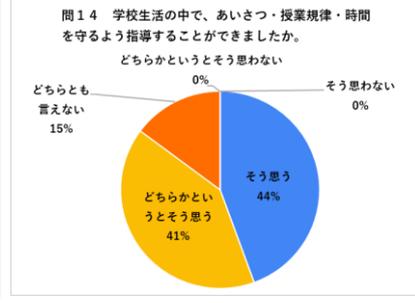
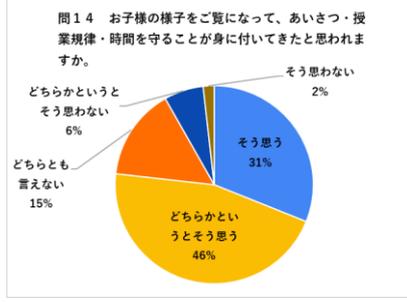
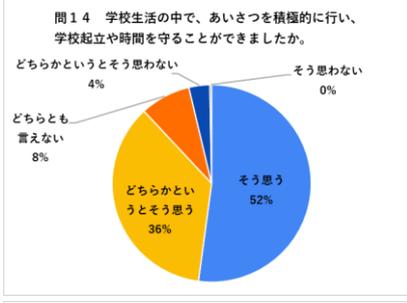
12 健康・体力



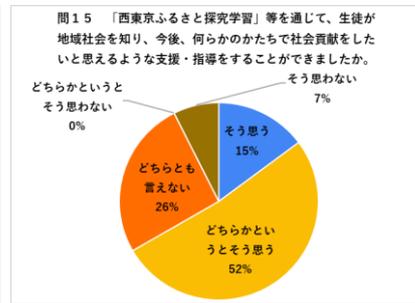
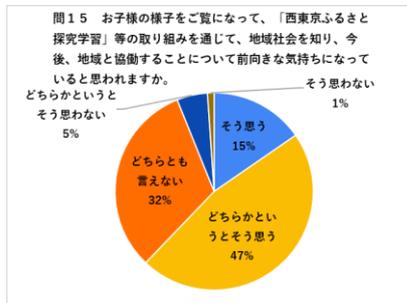
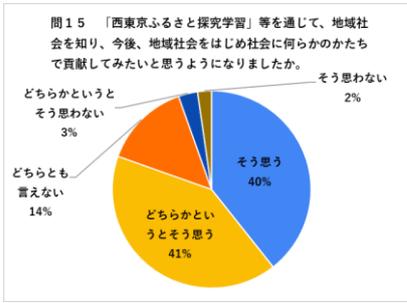
13 正しい判断



14 あいさつ・規範意識



15 地域と協働する力



## ◆ご意見に対してのご回答

Q. 1年生の教室の空調をなんとかしてほしい。

A. 市の施設課も先日現地調査に来るなど、教育委員会も含めて重大な課題と考えています。4階に遮光カーテンを設置、室外機が熱くならない工夫、窓に模造紙を貼り付ける等、学校としてできることは引き続き行ってまいります。

Q. タブレットが効果的に使われていたのか、どのように使われていたのか分かりづらく、判断できませんでした。

A. 今後、可能な限りタブレットを活用した家庭学習などを検討し、効果的に使用していきたいと思います。

Q. タブレットの学習以外の利用について、管理が難しいと感じています。

A. 改めてタブレット利用上の注意事項を全校生徒に伝えました。ご家庭での使用につきましては、ご家庭の協力も必要不可欠と考えています。学校とご家庭で連携し、生徒が適切に使用できるようにしていきたいと思います。

Q. お弁当のお知らせや必要な連絡を「すぐーる」でお知らせしてくださるので、大変助かってます。紙配布のお便りは極限まで減らして、配信を多くしてくださるとさらに嬉しいです。また、荷物が毎日重過ぎる。タブレットで電子化されているものは持ち帰らないなど、許可してほしい。紙で配布している保護者向けお知らせをすぐーる配信にして欲しい。

A. タブレット以外の荷物の持ち帰りについては、原則として生徒本人に選んでもらっています。また、タブレットの重量も以前と比較して軽くなっております。また、配布物につきましては、今後はなるべく多くの資料を「すぐーる」にて配信できますよう、努めてまいりたいと思います。

Q. タブレットについて。配布が遅れたり、配布された端末が代替品で正式な物は再配布がある等、結構大事だと思われる内容を子どもを通して話を聞くのみで学校(市)から説明が無いのは大丈夫なのかなと思っています。使用同意書を提出する物なので、「すぐーる」でも構わないので情報展開をして頂きたかったです。

A. タブレットの不具合など、ご不便をおかけし申し訳ありません。今後は、すぐーる・ホームページを活用し、保護者の皆様に正しく情報が伝わるように努めてまいりたいと思います。

Q. 3年2学期の期末考査は、受験に影響するのに、国語の試験内容や分量が適切だったのか疑問があります。試験前に課題が多く、試験勉強、入試に向けた学習に支障をきたしているように感じました。

A. (国語科より)問題文の3分の1は授業で学習した内容であり、設問も選択問題が多かったです。適切な試験内容や分量については今後も一層精選してまいります。また、考査前の課題についても、学力定着により効果的なものになるよう、努めていきたいです。

Q. 自己学習のやり方、進め方が身につけていないにも関わらず、それを宿題として生徒に任せることは、できる人できない人の差が広がるだけであり、フォローが不十分だと感じる。

A. 自己学習の進め方は、授業でも話していますが、一人一人により効果的なアドバイスとなるよう、努めてまいります。さらに、宿題で分からない場合は、教科担当に質問や相談してもらおうのがよいかと思います。また、考査前には放課後自習室や質問教室を実施していますが、引き続き、理解力定着を促すフォローを行ってまいります。

Q. テストがあまりに悪い場合、先生方も大変かと存じますが、補講などがあると安心感があるなと思いました。

A. 教科にもよりますが、考査後にはテストの解き直しや再テストを実施しています。また、考査前には質問教室を開き、分からないところなど、質問できる環境をより一層整えていきます。

## ◆1月・2月の予定

1月20日(火) スクールカウンセラー来校

1月23日(金) 書初め展最終日・漢字検定

1月24日(土)～26日(月) 西東京市生徒作品展(きらっと)

1月26日(月)・27日(火) 都立高校推薦選抜

1月27日(火) スクールカウンセラー来校

1月28日(水) 西東京スピーチフェスティバル(2年)

2月1日(日)～3日(火) スキー移動教室(1年)

2月3日(火) スクールカウンセラー来校

2月6日(金) 校外学習(2年)

2月12日(木) 新入生交流会

2月13日(金) 新入生保護者説明会

2月16日(月) がん教育講演会(2年)

2月17日(火) スクールカウンセラー来校

2月19日(木)・20日(金) 放課後自習室 15:45～16:45

2月24日(火) 放課後自習室 15:45～16:45

スクールカウンセラー来校

2月25日(水)～26日(木) 学年末考査

2月27日(金) くつろぎ喫茶 15:30～17:00